

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

学力と朝食の中味

先月24日に学力調査が実施されました。正式には全国学力学習状況調査と言います。

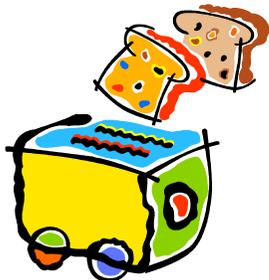
全国の小学6年生と中学3年生が、同日、同時刻に、同じ問題に取り組みました。

「日本の子どもの学力を世界のトップレベルに」というのが文部科学省の目標です。福岡県の目標は「全国平均を上回る」ことです。そして、我が春日小学校の目標は、「全国平均以下の子どもを前年度より10%減らす」こと。

さて、島根県雲南市の教育委員会が興味深い調査を行っています。「朝食の中味と学力の関係」です。

調査結果は次のとおり。

<朝食の中味>	<平均点>
主食+主菜+副菜+乳製品	76.6
主食+乳製品	70.4
主食のみ	62.1
欠食	61.7



これまで、朝食を毎日きちんととる子どもの学力はとらない子よりも高いという結果は示されていましたが、朝食の中味との関係については初めてです。

この調査結果の信頼性がすこぶる高いとするなら、トーストにバターを塗るとトーストだけより8.3ポイントアップ。目玉焼きとレタスをつけるとさらに6.2ポイントアップということになります。

朝食だけで「春日小の子どもの学力を世界のトップレベルに」とはいかないまでもこれに春日小学校の先生たちの授業力を併せるなら、結構いけるかも。

子どもたちは毎朝愛情注がれた朝食を食べて学校に出かけ、学校では楽しい授業。

よし！これを今年の目標としよう！



太陽の母、モモ

平成14年、秋田市大森山動物園での出来事。

太陽と名付けられたアミノメキリンの赤ちゃんが、生後7ヶ月で事故に遭い、足を骨折して立てなくなってしまいました。キリンにとって立てないということは死を意味します。

動物園の飼育員たちは、なんとか太陽の命を守ろうと努力しましたが、その甲斐なく3ヶ月後に息絶えてしまいました。

その直後にひっそりと息を引き取ったキリンがいました。太陽の母親モモです。

モモは、太陽が飼育員の治療を受けている3ヶ月間、一度も足を曲げて寝ることがありませんでした。母親モモの祈りが聞こえてきそうです。

我が子を思うモモは、3ヶ月間太陽の横に立ち続け、そして、とうとう息絶えてしまったのです。

動物でさえ母の愛はかくも深い。まして、私たちの母の愛はいかばかりか・・・。

世の中に思いあれども子を恋ふる
思いにまさる思いなきかな

きのつらゆき
<紀貫之>